

# トルコの足元の投資環境について

## 統一地方選挙の蒸し返してトリプル安

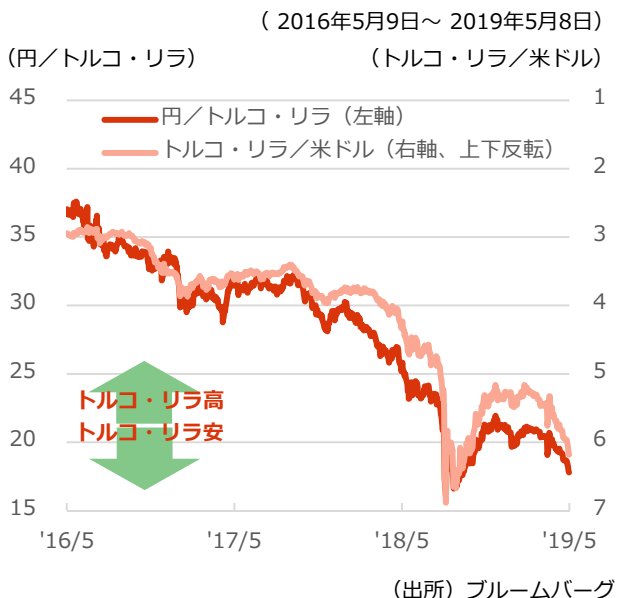
2019年5月9日

### 民主主義の危機に投資家が敬遠

統一地方選挙をめぐる政治的混乱を背景に、足元でトルコ資産が下落しています。3月末に行われた統一地方選挙では、与党AKP（公正発展党）はイスタンブール、首都アンカラ、イズミルの三大都市で敗北しました。エルドアン大統領はイスタンブールでの選挙で不正があったと主張し、一部投票所での再集計を要求したものの、選挙管理委員会に退けられました。AKPからもイスタンブール市長選のやり直しが要求されたものの、エルドアン大統領が敗北宣言と取られる発言をしたことにより、事態は収束したと思われていました。しかし5月6日（現地、以下同様）、トルコの最高選挙管理委員会はイスタンブールの市長選挙の結果を無効とし、6月23日に選挙のやり直しを実施すると発表しました。AKPから最高選挙管理委員会に対して何らかの圧力があったのではないかと憶測が広がり、トルコの民主主義に対する懸念が台頭しました。これを受けて、トルコからの資金逃避の動きへの警戒が強まり、トルコ市場は、為替、債券、株式のトリプル安で反応しました。

トルコの金融市場においては、外貨準備高の信ぴょう性や中央銀行の独立性への懸念が高まっています。また、外交面でもロシアからのミサイルシステム調達をめぐって対米関係の悪化が懸念されています。市長選挙のやり直しで独裁政治の批判も高まる中、エルドアン大統領の動向に注目が集まります。目先は、引き続き市場のリスクセンチメントの悪化への警戒が必要と考えます。

#### 為替の推移



#### 金利と株価の推移



#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。